

白岡市環境基本計画リーディングプロジェクト進行管理シート

リーディングプロジェクト3

多くの市民が環境づくりにチャレンジする環境を学び行動する市民を増やそう！プロジェクト

令和6年度における関連する社会の出来事

低炭素社会から脱炭素社会の実現にチャレンジする脱炭素社会を実現しよう！プロジェクトを参照

■環境を学び行動する市民を増やすための取組

◆多様な主体、世代が学べる機会を充実させます！

環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」

●ボランティア団体などと連携しながら、自然環境に関する学習会の開催など、学校教育や社会教育での学習機会の拡大を図ります。

令和6年度に実施したこと

(教育指導課)
市内各学校での「みどりの学校ファーム」において、苗を植えたり、収穫したり等、自然に触れることで環境保全への理解を深めた。

(生涯学習課)
自然観察会など環境関連の講座を実施した。

評価

各学校において、引き続き取り組む。
また、小学生等が環境に親しむ機会作りを行い、市内に存在する自然を認知できるよう情報提供を行っていく。

生涯学習課の事業は一度きりではなく、季節ごとに経過を楽しみ学習できる工夫が凝らされている。自然とのふれあいを通じて、親子の絆づくりにも寄与している。
今後も学習機会の拡大に努める必要がある。

●保育所や児童館などにおいて、児童や親子向けの環境学習、体験学習などを実施します。

(子育て支援課)
東児童館事業では幼児親子及び小中学生、子育て支援事業では乳幼児親子を対象にリサイクル素材を使った工作・遊びを行った。

幼児・児童、それぞれのライフステージに応じた環境学習に取り組んでいる。
この時期における環境学習は、生涯にわたる環境保全意識を身に付ける基礎を培う役割を担っている。

●環境関連事業の実施や、学校の授業における環境関連の副読本の活用などにより、学年に応じた環境教育や意識啓発を推進します。

(教育指導課)
市内各学校に対し、各種団体から送付される環境に係る通知等について、積極的に情報提供を行った。また、各教科及び総合的な学習の時間において、環境問題についてふれ、児童生徒への理解を深めた。

学校においては、発達段階に合わせ、学年に応じた環境教育が行われている。持続可能な社会づくりに貢献する人材育成のため、環境教育の重要性は高い。
今後も充実に向けた取組が必要である。

●自然観察会や体験学習、各種環境関連の生涯学習講座等の実施、拡充を通じて、幅広い世代の市民に対する環境学習を促進するとともに、自然学習指導者や公園ボランティアなどの育成を図ります。

(環境課)
つくばエキスポセンター及びJAXA筑波宇宙センターを見学し、自然科学や宇宙ゴミ等の問題について学習することができた(大人:16名、子ども:24名、合計:40名の参加)。
12月には「親子エコスクール」を開催し、親子で楽しみながら太陽光発電の電球を使ったクリスマスランタンの作成を行い、地球温暖化について理解を深めた(大人:7名、子ども:11名、合計:18名の参加)。

環境問題への関心度を高めるための企画であり、幅広い分野の「環境」に関連する施設やテーマを検討して事業を開催している。
令和6年度は夏・冬の環境学習会で、合計58名の参加があった。
引き続き子どもから大人までが環境について学ぶことができる講習会等を企画・運営していく。

●地球環境に負荷の少ない生活への転換を促進するため、「広報しらおか」やパンフレット等により情報を提供するとともに、学校教育や社会教育等の機会を捉えて、地球温暖化対策に関する啓発を進めます。

(環境課)
地球温暖化対策に資する取組を推進するため、各種イベントや省エネ家電への買換えを呼び掛けた。

小学生に楽しみながら温暖化について学んでもらう「コミックサイエンスショー」を実施し、地球温暖化について考えてもらうきっかけ作りを提供できた。

◆市民、事業者に対する白岡市の環境行政への理解を深める機会をつくります！

環境基本計画で定めた「市の具体的な取組」

●「広報しらおか」やホームページ、教育・学習の場、イベント時など様々な場所と場面で、白岡市環境基本条例、白岡市環境基本計画を周知する機会を作ります。

令和6年度に実施したこと

「環境学習会」や「白岡まつり」でのブース出展などの環境課が主催するイベントで環境基本計画の概要版を出席者に配布し、条例・計画の周知を図った。

評価

環境課が行う各種イベントにおいて参加者に計画の概要版を配布し、条例と計画の周知を行った。
令和7年度も引き続き実施していく。

■「市民・事業者」の取組

環境基本計画で定めた「市民・事業者」の取組の例

【市民の取組の例】
●グリーンツーリズムなどのエコツアーに参加し、環境について楽しみながら学べる機会を多く持ちましょう。
●自然観察会や環境学習の機会に関心を持ち、参加しましょう。
●家庭において、環境について話し合う機会を設け、一緒に考えましょう。

【事業者の取組の例】
●市や地域における環境学習の機会などに参加するとともに、企業として協力しましょう。
●事業所の環境への取組について、地域へ周知を図るため、事業所の見学会などを検討しましょう。
●従業員に対して、環境保全に関する勉強会などを開催し、意識向上に努めましょう。

令和6年度に実施したこと

自然観察関連では「大人の自然観察会(参加:7名)」への市民の参加があった。

評価

生涯学習課における事業は、市民との連携により市民が参加する事業展開がされている。今後も市民が関心を持つ事業の展開が望まれる。
一方で、市民との連携は見受けられるが、企業との連携はできていないことが今後の課題となる。

プロジェクトを推進するための数値目標

担当課	項目	基準	令和2年度実績	令和3年度実績	令和4年度実績	令和5年度実績	令和6年度実績	令和7年度実績	中間目標	目標
		令和元年度							令和7年度	令和12年度
環境課	環境学習会・講座累計参加者数	59人	0人 コロナ禍により未実施	0人 コロナ禍により未実施	12人	38人	58人		350人	700人
教育指導課	市内小・中学校におけるSDGsをテーマにした環境学習の実施	32回	32回	73回	179回	131回	151回		年間48回以上	年間80回以上
環境課	市民の白岡市環境基本条例の認知度(名前も内容も知っている)	2.3% (令和2年度調査時の認知度)						4.2%	10.0%	15.0%
環境課	市民の白岡市環境基本計画の認知度(名前も内容も知っている)	3.1% (令和2年度調査時の認知度)						4.8%	10.0%	15.0%

総括

◇多くの市民が環境づくりにチャレンジする環境を学び行動する市民を増やそう！プロジェクト
各課において環境保全行動を意識した事業が実施されている。
学校教育においては、普段の授業の中に環境に関するテーマを取り入れ、昨年度よりも多くの環境学習が実施された。
また、生涯学習課では、「大人の自然観察会」や「ひこべえの森冬の集い」など、幅広い年代への環境教育、環境学習の充実に取り組んでいる。
引き続き、子どもから大人まで環境学習が行える機会を設けるよう努めていく。